

事業報告

令和2年度 教育事業 教員免許状更新講習

令和2年9月5日(土)～6日(日)

【対象】小・中学校教諭

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

～趣旨～

教員が体験活動の意義について理解するとともに、児童・生徒の集団宿泊活動を効果的に実施するための基本的な知識や技術を身につける。また、学習指導要領における体験活動の位置付けについて理解し、教育課程の編成や教育活動に体験活動を取り入れる方法を講義や実習を通して習得する。

～主催～

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立信州高遠青少年自然の家

～活動日程～

8:30		9:00		10:30		10:45		12:45		13:30		15:30		15:40		18:40		18:50		20:50		22:00	
1 日 目	受付	開講式	講義 「教育の現状と課題」 (1.5h)	実習 学級で活かせる「体験活動を使った人間関係づくり①」(2h)	昼食	講義 学級で活かせる「体験活動を使った人間関係づくり②」(2h)		実習 学級作りに活かす体験活動「野外炊飯」(3h)		実習 体験活動「キャンプファイア-」の指導法(2h)		入浴 自由交流		就寝									
7:20		8:30		10:30		10:50		14:20		14:30		15:30		15:40		15:50		17:20					
2 日 目	朝食	講義 「体験活動の教育的意義」(2h)		実習 学級作りに活かす自然体験活動「オリエンテーリング」(昼食弁当を含む)(3.5h)		講義 「野外活動における安全管理」(1h)	開講式	履修認定試験 (1.5h)		解散													

～参加者～

22名(男性16名 女性6名)(小学校教諭12名 中学校教諭10名)
(長野県19名 愛知県3名)



～活動トピックス～

講義Ⅰ 【教育の現状と課題】

講師：長野県教育委員会学びの支援課義務教育指導係教育主幹兼係長 小池 徳男 氏

新学習指導要領のキーワードである「主体的・対話的・深い学び」について、また今の子供たちが抱えている課題や新しい学力観に立った授業の実践について理解を深めた。



講義・実習Ⅰ 【学級で活かせる「体験活動を使った人間関係づくり」】

講師：国立阿蘇青少年交流の家次長 北見 靖直 氏

まずはじめに人間関係を円滑にするためのアイスブレイクについて実習を行った。つぎにアイスブレイクの効用について具体例をもとに学んだ。特に今回はコロナ対応で用具等の工夫が行われた。

実習Ⅰ 【学級作りに活かす体験活動「野外炊飯」】

講師：国立阿蘇青少年交流の家次長 北見 靖直 氏

国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職

危険予知トレーニング(KYT)をはじめに行ってから、カレーライス作りフルーツポンチ作りに取りかかった。実際に作ってみることで、失敗しそうな場面を知り、危険察知能力を高めることができた。





実習Ⅱ 【体験活動「キャンプファイヤー」の指導法】

講師：国立阿蘇青少年交流の家 次長 北見 靖直 氏

国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職

天候にも恵まれ、屋外でキャンプファイヤーについて学んだ。キャンプファイヤーの歴史や種類についての講義を受け、展開の仕方や効果的なスタンプについて理解することができた。

講義・実習Ⅱ 【体験活動の教育的意義】

講師：信州大学 理事・副学長 平野 吉直 氏

はじめに講義を聴き、後半に環境学習ゲームを体験した。講義で学んだことを実習で体験することができ、理解が深まった。「森のつながり探し」ゲームでは班の仲間と共通する特徴・性質を考えながら楽しく活動できた。



実習Ⅲ 【学級づくりに活かす自然体験活動「オリエンテーリング」】

講師：国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職

当施設プログラムの施設内オリエンテーリングと独自プログラムであるフォトオリエンテーリングをグループにわかれて行った。天候にも恵まれたため、参加者は気持ちよい汗をかいていた。オリエンテーリング実施上の留意点を身をもって知ることができた。

講義Ⅱ 【野外活動における安全管理】

講師：国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職

リスクマネジメントについて実地踏査の重要性を中心に学んだ。実地踏査をしていない指導者には写真を見せるなどの具体的な方法で情報を共有することの必要性を学んだ。

また、KYT(危険予知トレーニング)で学んだことをもとに考えられるリスクを意識することにより、いざという時の対応にも余裕ができ、冷静な判断につながることも確認できた。

～参加者の声～

- ・講義⇒実習⇒講義とメリハリのあるプログラム構成であったので、集中力を切らさず、楽しく学ぶことができた。
- ・三日分の単位が2日間で履修できることは日々忙しく仕事をする私たちにとって大変ありがたいプログラムです。座学が多い中で、体験を通して学ぶプログラムだったので五感で学ぶことができてありがたかったです。
- ・コロナウイルス感染防止に対応したプログラムが用意されており、安心して受講できました。
- ・授業する側、受ける側どちらの面からも学べる時間だった。すぐに実践できるものもたくさん教えていただいた。いやいや臨んだ今回の研修でしたが、来てよかったと思える研修になりました。

～成果と課題～

- コロナ感染防止の観点から三密を避ける対応をした。定員は例年より少なめに設定し、座席は間隔をとり、換気、使用したものの等のアルコール消毒を確実に行った。また、受講者の体調管理にも徹底し、朝の入室時、起床・就寝時の検温を行った。今年度は夜の情報交換会は行わなかった。受講者全員が体調を崩すことなく全日程を終了することができた。
- 講師の先生方の講義内容がよかったことと、講義と実習をバランスよく配置したことにより、2日間で18時間の受講というハードな日程であっても、参加者の方々から非常に高い満足度を得た。
- 履修認定試験は参加者全員が基準を満たした。試験方法や内容は的確であったといえる。
- 受講が先着順であるため、申し込みの際、受講が確定されたことがはっきりわかるとありがたい。